

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 89号 通算 153号

2016.12.22 (木) 発行

関西キャリ研とは何だったのか その2

横山

今日(20日)の午後、2年理数科をシタタカ叱ったので心がザワツイている。こんな夜は「通信書く！」しかない。気持ちを整えたいとき、読むのもイイし書くのもイイ。実は早目に寝るのが一番いいのだけれど、普段は常に脳天気な私なので、トキにはセンチメンタルにどっぷり浸るのも貴重な時間だと思う。そう、ときに精神のプラスマイナスを調整しないとね。今日は少しだけ「引く日」なのだと思う。そういえば今日の掃除の時間、3組のSTさんが「私あの日、体調最悪だったのにテスト結果良かったの！」と嬉しそうに話してくれた。それは実体験としてよく分かる。

小学校のときにソロバンを習っていたのだけれど、何回受けても珠算検定3級に合格しなかった。これで最後と思ったその朝は39℃の高熱と鼻水。コリヤダメだと思ったのだけれど、せっかく受験料払ってもらったので「記念受験」に出かけた。いつもはマキマキと玉をはじくのだけれど、ダメ元だからとゆったりとした気持ちでゆっくり計算した。結果、ほぼ満点に近い高得点で合格することができた。あとき「なぜ体調が悪いのに合格できたんだ？」という疑問は今もある。しかし、あれから数十年の人生経験の中で少しだけ解ったこともある。実は「調子がイイ」と感じるときは「過剰なとき」なのかもと思った。例えば、テストのとき「解くことに夢中になりミスばかりの解答を書く」という過剰がある。誰かと話をするとき「相手の話を聞かないで一方的に話す」や「普段は絶対言わない余計なことを言う」という過剰。無意味に急いで「階段を踏み外す」や「川に落ちる」「事故を起こす」という過剰。つまり調子いいと実感するとき、そのときは「ある種の興奮状態にある」のではないかと思う。目標が達成されたとき、お金を拾ったとき、好きな人と一緒にいるときなどは、誰もが「調子いい！」と実感するけど、冷静な周囲の目には「何してるのかね」と映ることも多い。おそらく、そんなときは体内で何かが分泌されているのでしょうか。人体って凄いですね。しかし、この過剰は悪いというものでは無いですね。夏祭りなどは(興譲祭とかも)みんな冷静だかつまらないですね。調子こいているヤツや、ぶっ飛んでいるヤツは絶対に必要です。逆の場面はどうですかね。必要とされないとき。お葬式はそうですね。電車の中とかそうですね。そして、珠算検定や大学受験のように「集中力・正確性・持久力・的確な判断力」が必要とされるときは、あまり調子に乗らない方がイイ結果を生むようですね。ですから、そのような調整ができる人になりたいですね。サッカー日本代表キャプテンであり「心を整える」の著者である長谷部誠選手はできるんでしょうね。サッカーと言えば、堀江貴文さんは知っていますか？ 通称ホリエモンと呼ばれる、そう「あの人」です。その後、堀江さんは精力的に本を書いていますね。その本に「なぜ君たちは一流のサッカー人からビジネスを学ばないのか」というのがあります。宇佐美貴史さんやとか川島永嗣さんへのインタビュー本なのですが、「サッカー選手は凄い！」がメインテーマです。実は、そのことは私も漠然と感じてはいました。特に海外で活躍している選手などは、他のスポーツ選手と比べるとどこか違いますね。言葉にするのは難しいのだけれど「何か」を感じます。また、最近ハマっているのが佐藤優(ユウでなくマサルです)さんですね。この人は高校生に

はホリエモンさん以上に遠い人かもしれない人ですね。彼は元外務省首席分析官で旧ソ連などに駐在していました。あの「鈴木宗男事件」では(これも高校生には遠いか。2002年だもの)背任容疑で逮捕され512日間拘留されました。私が最近読んだのは「大国の掟」という本です。これは国際情勢に興味ある人は勿論ですが、歴史好きや地理好きな人にもオススメです。私は結構、この手の本が好きですね。ドキドキします。そういえば、ホリエモンさんも証券取引法違反で逮捕収監されています。ホリエモンさんはビジネスで、佐藤勝さんは外交官として絶頂を極めている頃に犯した犯罪です。この両人が歩んだ経過をみると「確信的過剰」の結果のような気がしています。けれど、そのような過剰なパワーがあるが故、釈放後も精力的に活動し、素敵な本を書いてくれています。佐藤勝さんと北原みのりさんの対談「性と国家」も日本の性の歴史やジェンダーを考える上で大変興味深い本です。一読オススメです。

このように書くと「横山先生、本読んでるなア」と感心する人がいると思いますが、これ以上に読むのが雑誌や漫画です。ですから、米興生・教職員の中でも「本屋出没率」は結構高いと思います。先週もハ〇〇〇では、2組のMSさんのお母様やSMさんのお父様とお会いしましたネ。最近はお会いしませんが、同じく2組のMRさんは中2階でよく勉強していましたね。イスや机のある本屋さんって素敵ですね。ただし、〇ラ〇〇さんも最近ではマンガ本をラッピングするようになってしまい残念です。しかし、〇〇ト〇さんで、あのように「多くの立ち読み」があると仕方無いとも思います。ですから、皆さんは「一冊を読み切る様な立ち読みは御遠慮下さい」ネ。本屋さんやコンビニも公共の施設ではありません。立ちお読みや家庭ごみを捨てるなど好き勝手はいけません。素敵なお店が存続するよう我々消費者は育てて守ることも必要です。ちなみに、山形県で〇〇〇クさん以外で好きな本屋は、上山市にある「ビックバン」です。関西にあるホッケーショップと同じ名前なので覚えやすいですね？ 夏の夜、夜空がキレイで少し空気がヒンヤリしたら、私は愛車に乗って上山までドライブします。ビックバンは小さなお店なのだけれど、本の選択やディスプレイに「店長さんの本への愛」を感じます。私の好きな車の本や釣りの本、オカルト本？が多いのも気に入っている理由です。「素敵なお店ですね！」と話しかけたいのだけれど、恥ずかしくて言えません。一生お付き合いしたいお店です。以前(といっても10年以上たつのだけれど)天童に「ブンブン堂」という日本一クラスの本屋がありました。いつも1万円位買っていたのだけれど残念ながら天童店を畳み、西蔵王店→プレスポ山形北店と移転し今はやっているのかな…。ブンブン堂も「どういうキッカケでこんなお店を作ろうとしたの？」と店長さんに話を聞きたい興味深いお店でした。なお現在の「日本一の本屋」と言えば、東京の「代官山蔦屋書店」であることは多くの本マニアに頷いて頂けることでしょう。特に自動車&バイク関係の書籍はサイコーです。このコーナーの前身は「リンドバーグ」という、知る人ぞ知る自動車本の専門ショップですから。ここはスゴイ！本当にスゴイ！どんなに凄いかは自分で行って見てくれ？ 1つだけ言うと、開店は朝7時！で本を読みながらパソコンで仕事をしてコーヒー飲む本屋なのです。私は東京に住むなら代官山ですね。毎日蔦屋に行けるから。でも代官山は、各国の大使館や外国人の住居が多く、日本をリードするファッションストリートなのでお家賃(地価)高いのです。だから、タマに東京に行くときに必ず寄るようにしているのです。そういえば「友于会集會」で、1組のTY君が「この冬休みは本を読みたい」と言っていましたね。おそらく4組のKAさんもそうでしょう。本当に短い冬休みなのだけれど、本を読んでほしいな。また、チャンスがあれば青春18切符や夜行バスでも使って東京に行ってほしいな。そして蔦屋に行って下さい。と、これを覗き見したタツペイ先生「池袋ジュンク堂が日本一だと思います」と自信満々。今は無理でも大学行ったら行けるから今年は我慢かな？

輝け！第1回 学年通信コンクール授賞式

11月の下旬、2学年部長の片桐さんから以下のようなメールを頂きました。片桐さんの許可を頂きましたので掲載させていただきます。

学年通信、毎回・毎回本当に楽しみにして読んでます。
その編集能力とご努力に頭が下がります。
本当にありがとうございます。

また、子供たちの学年通信に対する熱意が増している感じがします。
正直、高校生がここまでウィットに飛んだ文章を書けるとは思いませんでした。

そこで、一つご提案したいのですが「学年部会長賞」を勝手に決めてはいけませんか？個人的に最近すごいと感動したのは、140号の2年4組KSさんの鈴木晃彦先生感想文です。文章もすごいのですが、ちゃんと感想文になっているところが素晴らしい（五感で感動したで賞）。また、144号の2年4組KAさんの読書感想文受賞報告の文章です（保護者も姿勢を正すで賞）。個人的に何回読んでも嵌ってしまったのが、124号2年1組MHさんのしわの文章です。簡潔で引き込まれました（恥ずかしがらずに言い切ったで賞）。

（中略）

是非、設定していただければ、個人的なポケットマネーからお渡ししたいです。
上記は参考であって、受賞作品は先生方にお任せします。また、今すぐにといい気はありませんし、無理な場合はなかったことにしていただいて結構ですので、ご検討してみてください。よろしくお願いします。

学年通信愛読者 片桐

中略には、片桐さんの琴線に触れた生徒の文章が綴られていました。このような素敵な申し出を断る訳ありません。片桐さんの選出をベースとしながら、2学年団全員で学年通信を読み返し(88号)今日(終業式後の学年集会で)の授賞式にいたりしました。そして、何と授賞式に片桐さんがご来校されて、受賞した生徒に直接「賞状」と「ポケットマネーの副賞」を贈呈して頂きました。生徒諸君。このように君達の文章を日々熟読し、表彰の機会を提案してくれた学年部長さんに感謝ですよ。そう、これは「愛」なのです。それは片桐さんがそうであるように、君達の保護者の方々も同じ気持ちなのです。実感することは少ないでしょうが、君達は多くの愛に包まれて生きています。今は解らなくとも、大人になったらわかるでしょうけれど…。また、学年通信では無いのですが、横山が個人的に募集していた「関西キャリア研修レポート&イラスト」の授賞式も行いました。さて、ここで受賞者を紹介します。

<第1回 学年通信コンクール部門>

最優秀 2年4組 K. Sさん (ホッケー部)

「五感で感動したで賞！」学年通信 No.76-140

全員一致の最優秀賞でした。鈴木晃彦先生の講演を、あのような素晴らしい食リポにまとめた才能に嫉妬します。KSが「フランスの風」のような女性になることを期待しています？

優秀 2年1組 M. Hさん (フェンシング部)

2学年通信 No.60-124 「恥ずかしがらずに言い切ったで賞！」
あなたの「しわ」に対する拘りに惹き込まれました。

優秀 2年2組 S. Rさん (陸上部)

2学年通信 No.82-146 「ワタシ(いつみ)の人生返して頂戴！賞」
福士蒼汰が来ることを連絡しなかった罪に対しての担任の怒りです？

優秀 2年3組 O. Yさん (調理科学部)

2学年通信 No.67-137 「土井広一先生の机を見習いま賞！」
片付けできない自分を赤裸々に綴ったエッセイに感動しました。

優秀 2年4組 K. Aさん (吹研)

2学年通信 No.80-144 「保護者も姿勢を正すで賞！」
あなたの読書感想文受賞報告のレポートには、大人である我々も大いに反省します。

優秀 2年5組 H. Aさん (美術部)

2学年通信 No.12-76 「ところで今も元気なので賞か？」。
あなたの描いたクラス紹介イラスト「トカゲ」は、まだ5組にいるのでしょうか？

<関西キャリア研修レポート&イラスト部門>

最優秀 2年4組 T. Aさん (新聞・文芸部)

「下唇噛んでる姿がいじらしいで賞」
あなたの描いたイラスト「京都に行きたかったあああ」に感動&同情しました？
いつの日か、学年みんなで京都に行きましょうね！

特別賞 2年1組 T. Mさん (弓道部)

「キャリ研行っていないのに、想像力が豊かで賞」
素敵なイラストでした。加えて、理数科諸君が見送りとお迎えに来てくれたことは感動でした。

結びです。この理数科のように、この1年で2学年諸君全員が大きく成長したことを実感嬉しく思います。アナタは確かに成長しています。今、世界は悲しいニュースに溢れているのだけれど、だからこそ将来は「諸君達のような者」に任せたいのです。「世に尽くす精神」こそが、世界を救うと私は信じているからです。誰もが幸せを実感できるような世界をアナタ達が作っていくのです。ですから、世界の各分野のリーダーとして活躍して欲しいと強く願うのです。そのために、今は知恵と知識と技術を身につけ、そして何より人間性を磨いて下さい。次代はAIと言われますが、おそらくは今以上に「人間的であること」が真に必要とされる時代になるはずですから。さて、今日は3年生のセンター試験28日前です。2年生諸君は1年後だけれど、「世界を担う気概と決意」があれば、自ずとやるべきこと・進むべき道は定まるはずです。今日、私、横山 参 参 サンタのクリスマスのプレゼントは「来年の白紙の行事予定表」です。ただ、唯一入っているのはセンター試験と国公立大学の試験日です。この年末年始、未来へのロードマップを完成させ、歩みを始めることを期待します。新年1月5日、今より凛々しく知性と笑顔に溢れたアナタと会いましょう。[終]